

## 現職教育

### 現職教育

#### (1) 研究主題

「自主的で、創造力の豊かな子どもを育てる」  
課題の解決に向けて、生き生きと取り組む姿をめざして

#### (2) 主題について

本校では、人権尊重の精神を基調として、健康で創造力豊かな子どもの育成を目指し、「心豊かに、たくましく生きる子ども」を教育目標に掲げ、その具現を図るため、教育活動の全分野で取り組みを進めている。

私たちは、どの子どもも学習する喜びや意志・意欲を持っているものと信じている。しかし、子どもたちの姿の中に、与えられた課題に対しては取り組むが、自ら課題に働きかけ、解決への過程を追究していきこうとする姿が不足しているように見受けられる。

このような子ども一人ひとりに、学ぶことの楽しさや達成の喜びを体得させ、学習への意欲を起こさせることが大切だと考えている。

子ども自らがめあてをもち、自分なりの方法で課題に向かうその過程こそが、私たちが、今もっとも子どもに求めたい力、自ら学ぶ力、つまり生きてはたらく力、生きる力だと考え、「課題の解決に向けて、生き生きと取り組む姿をめざして」をサブテーマとして取り組んできた。

平成15年度からは、研究教科を算数科に絞り、創造的思考力・論理的思考力の育成をめざし3つの仮説をたて、問題解決までの過程を重視した学習のあり方を研究の柱にすえ、仮説を検証してきた。その結果、子どもたちの中に生き生きと学習に取り組んだり、工夫して考えたりする姿が見受けられてきた。また、子どもたちは、ノートにそれらの足跡を残すことも出来てきている。しかし、多様な考えを引き出すための算数的活動の一層の工夫、児童の考えを伸ばす教材の開発、子ども相互が関わり合いながら、授業に主体的に参加できる集団づくりなどが課題として見えてきた。

そこで本年度は、昨年度までの成果や課題をふまえ、各学年の発達段階に応じた主体的な学習をさせるために、子どもが課題と出会う場面を大切にしたいと考える。どんな場をどのように設定すれば、子どもたちが問題の解決に向けて生き生きと取り組めるであろうか、子どもの側にたつての教材研究に力を入れたい。意欲や関心が持続する、子どもの学びに応じた場の設定の研究を進めていくことで生きてはたらく学力をつけるための授業の創造を重要課題として研究を深め、研究主題に迫りたいと考えている。

#### (3) 研究の進め方

研究教科 算数  
研究の柱 学ぶ楽しさや充実感を味わう学習のあり方  
考え合う喜びの持てる子どもに

##### 子ども像

低学年【自分の考えがもてる子】

- 1年 具体的な操作に慣れ親しむ子
- 2年 操作を通して、自分の考えが持てる子

中学年【よりよい考えを求めようとする子】

- 3年 友だちの考えと比べようとする子
- 4年 友だちの考えと比べながら、よりよい考えを求めようとする子

高学年【発展的に考えられる子】

- 5年 既習を生かし、新しい問題を解決しようとする子
- 6年 学習したことを他の事例に当てはめて、確かめようとする子

## 仮説

- ・意欲や関心が持続する学習課題を設定すれば、生き生きと学習に取り組むであろう。
- ・教材、教具、遊具など学習環境を整備していけば、さらに思考力がつくであろう。
- ・問題解決までの過程がわかるノートづくりをすることによって、創造的思考力や論理的思考力が育つであろう。

## 研究内容

- ・興味、関心、意欲の持てる学習課題の設定
- ・興味、関心、意欲を持って生き生きと活動できる場の設定
- ・創造的思考力や論理的思考力がつく教材教具の開発と学習環境づくり
- ・創造的思考力や論理的思考力がつくノートづくり
- ・個に応じた支援のあり方

## 具体目標

- ・課題を理解し、興味関心を持って取り組める。
- ・友だちの考え方を理解し、自分の考え方と比較しながら課題解決の道を探ることができる。
- ・自分の考えを持ち、自分の言葉で表現し、深め合うことができる。
- ・楽しくよく分かる授業の展開を工夫する。
- ・意欲的に楽しく学び、できた喜び、分かる喜びを味わわせる。
- ・思考表現の手段としてのノートづくりができる。

## 支援のあり方

- \* 学びに応じた教材、教具の工夫
- \* 課題提示の工夫
  - ・興味関心をひきつける課題
  - ・いろいろな考え方や解き方ができる課題
  - ・既習事項が生かせる課題
  - ・発展性のある課題
- \* 操作活動の重視
  - ・具体物、半具体物、絵や図、表やグラフを使った操作
  - ・思考実験的な念頭操作

## ブロック

- ・低学年、中学年、高学年の3ブロックに分かれ研究を進める。。

## (4) 基本的な学習過程

学習過程	子どもの見取り
1 課題をつかむ。 ・問題を知る。 ・見通しをもち、めあてを立てる。	問題場面をとらえることができているか。 (質問・発言・挙手・集団観察)
2 自力解決 ・自分なりの方法で考える。 ・補助説明を聞く。	今までの学習との共通点や違いに気付くことができているか。(発言・挙手)  解決の見通しをもち、自分なりの方法で解決し、かき表すことができているか。(期間指導・図式・記述)
3 集団思考 ・みんなで話し合う。 ・比較検討する。	自分なりの考えをもち、友だちと意見交換することができているか。(発言・挙手)
4 学習のまとめ ・学習のふりかえり	意味を理解し、自分なりの言葉でまとめたり、練習問題を解いたりすることができているか。(机間指導・記述)

(5) 算数ノートの使い方

課題をつかむ場面	自力解決の場面	まとめの場面
課題をつかみ、整理する 問題文を書く ・わかっていること、たずねている こ とに線を引く めあてを書く ・本時のねらいを書く ひらめいたことを書く ・答えの見通しや方法	考えをはっきりさせるために書く 自分の考えを書く ・絵や図、式を書く ・説明を書く ・発見したことを書く ・他の解き方を書く	学習を整理して考えをまとめる 練習問題をする 色々な考えを書く わかったことを自分なりにまと める 学習をふりかえって感想を書 く